

平成 26 年度 eco-T 市民会議

●目的

- ・eco-T の運営を担う 3 主体（市民（インタープリター）、NPO（事務局）、行政（環境政策課））が、平成 26 年度の事業計画に対して成果や課題を共有し、話し合った結果を次年度の計画にいかす。

●実施内容

日 時：2 月 9 日（月）13：30～16：00

場 所：eco-T 多目的室

出席者：インタープリター 23 人、環境政策課 2 人、eco-T 事務局 10 人 計 35 人

内 容：①あいさつ（環境政策課、インタープリター、事務局）

②平成 26 年度の事業報告

③グループトーク セッション 1（平成 26 年度の事業報告を聞いて感じたこと）

④グループトーク セッション 2（自由テーマ：話し合いたいテーマごとにグループ化）

●成果

- ・今年度の実績・成果を、eco-T の運営を担う 3 主体（市民、事務局、行政）で共有することができた。
- ・グループトークでは、自由に意見を出し合える雰囲気になり、アイデアや思いを共有することができた。次年度の事業計画にいかしていきたい。
- ・参加者がそれぞれに問題意識を持っていることがよくわかった。また、その問題意識を全体で共有することができた。

<グループトーク セッション 1：平成 26 年度の事業報告を聞いて感じたこと>

グループ	意見交換：平成 26 年度の事業報告を聞いて感じたこと
①	<ul style="list-style-type: none">・ごみの数値評価…インタープリター活動を評価するのは難しい・小さい子に伝えて将来に成果を見ることや活動を広げていく・出前授業…地域への活動の広がりになる・1 年目で出前授業を経験するのは難しい／1 年目は導入の 1～2 回は見学にして次から実際に授業してくようなカリキュラムを作って活動できるようにするとよい
②	<ul style="list-style-type: none">・インタープリター同士のつながりについて、1 期は施設をつくる段階から参加していることもあり使命感もある／各期の感じ方は違うが、良い関係を築いていくにはワーキングやシフトやイベントの時の情報交換はよい機会と思う・エコットクッキングは試作の雰囲気がよく、講座のチームワークがよい・エコットに来るのは楽しいが、自分の生活や趣味がベースで、時間を空けてエコットに参加して続けていきたい・大人が参加し楽しめるワーキンググループがあれば、知り合いなどを紹介できる
③	<ul style="list-style-type: none">・来館者 15 万人達成・ESD を分かりやすく伝える・日々やっていることに加え、新しいことにチャレンジ・年度初めに自分のテーマを決めて活動していきたい

④	<ul style="list-style-type: none"> ・情報伝達のやり方の工夫が必要 ・施設利用を有料にしてもよいかもしれない ・経験交流会でP→Dはやれているが、C→Aまできちんとやるようにしたい
⑤	<ul style="list-style-type: none"> ・「教える」から「聞く」に力を入れることについて、説明＝教えるは、だらだらとメリハリがなくなると思う／子どもに「どう思う？」と聞くようにしたい ・シフトの時、聞いてくれそうな来館者には声をかけてみる／親子の対応も声かけを考えてする ・外国の方に日本のこまを教えて喜んでもらった ・子どもからの質問に答えられなかった／勉強になった ・自分が学ぶから聞くへ
⑥	<ul style="list-style-type: none"> ・PDCA が回っていない ・イベントになかなか参加できない。活動のモチベーションが下がった ・ボランティア活動のあり方考え方の違いに戸惑う ・インタープリター活動に楽しさを求めてはいけけないのか、少しやらされ感を感じるし、気楽に來たい ・インタープリターとしてのプロ意識と、ボランティアとしての活動 ・「気づきから行動へ」を考えていなかった ・環境によく楽しい領域で話し合う

<グループトーク セッション2：グループごとのテーマと発表内容>

グループのテーマ	発表した内容
グループ1 「活動を楽しくするには？」	<ul style="list-style-type: none"> ・自分が楽しくなければ相手に伝わらない ・インタープリター間のコミュニケーションを増やしたらどうか ・モチベーションを向上させる
グループ2 「来館者を増やすには？」	<ul style="list-style-type: none"> ・3万人の来館者を目指す ・eco-Tの入り口をわかりやすくする ・PR（市議員、豊寿園、福祉課、環境委員・・・）
グループ3 「展示室をもっと活性化！」	<ul style="list-style-type: none"> ・シフトのインタープリターができるものを用意、展示、声かけ ・宝探しの発見のある展示 ・大きな展示製作ワークショップのほかに、小さな展示変更も・・・
グループ4 「ESDとは？」	<ul style="list-style-type: none"> ・言われたことをやるのではなく、自分で考えてやる ・楽しい発想からESDを広めよう
グループ5 「出前講座を充実するには？」	<ul style="list-style-type: none"> ・eco-Tにワーキンググループ ・地域支援室や県との連携 ・やり方は、新人はインターン研修